

メルマガ「運輸安全」第56号

□■□■□■□■□メルマガ「運輸安全」(R3.3.2.第56号) □■□■□■□■□

~~~~ (目次) ~~~~~

## (トピックス)

- 運輸安全総合セミナー開催のご案内

~~~~~

○ 運輸安全総合セミナー開催のご案内

運輸安全監理官室では、人手不足、運転者の高齢化・健康問題への対策、近年頻発化・激甚化する自然災害への対策、新型インフルエンザ等の感染症対応などの保安対策といった、運輸安全上の脅威に対する運輸事業者の対処ノウハウ向上の為、運輸安全総合セミナーを行っております。

このたび以下の通り開催を行いますのでご案内いたします。詳細及び申込み方法については以下の通りです。

なお、コロナウィルス感染拡大防止に向けた「新しい生活様式」での開催が求められていることから、「運輸安全マネジメント総合セミナー（以下「総合セミナー」とする。）」については、以下に記載する「3密対策」「衛生対策」を勘案した上での開催に留意致します。

・「3密対策」

- 1) 密接（収容定員の50%以内）
- 2) 密集（間隔を空けた配席）
- 3) 密閉（休憩時間に、窓を開け換気）

・「衛生対策」

- 1) マスク着用（講師、受講者）
- 2) 手指消毒（講義開始前、休憩時間に手指をアルコール消毒）
- 3) 共用物品・設備の消毒（机、椅子等のアルコール消毒）

については、総合セミナーを受講予定の皆様には、以下に記載する事項について、ご協力して頂きますようお願い致します。

1) 総合セミナー実施当日、自ら体温測定し、37.5度以上の方及び体調の優れない方はご辞退願います。

2) 総合セミナー受講者は、必ずマスクの着用をお願い致します。

3) 総合セミナー受講中、体調の優れない方は、講師に申し出るようお願い致します。

4) 総合セミナー開始前、休憩時間に手指のアルコール消毒を実施願います。

■令和3年3月11日運輸安全マネジメント総合セミナー

開催日時： 令和3年3月11日（木） 14：00～16：30

会場： 経済産業省別館1111号会議室
東京都千代田区霞が関1-3-1

定員： 12名（先着順・原則1社1名まで）

テーマ： 紀勢線の津波対策について

講師： 西日本旅客鉄道株式会社 和歌山支社 和歌山支社長 富本 直樹 氏

講演概要： 紀伊半島は、南海トラフ地震により、大きな被害を受ける可能性があります。JR西日本では、主に紀伊半島の海岸線を運行し、最短で3分後には津波が襲う想定であるため、迅速な避難に向けて取組みを進めています。本セミナーではこれらの取組について説明いたします。

■令和3年3月12日運輸安全マネジメント総合セミナー

開催日時： 令和3年3月12日（金） 9：30～12：00

会場： 経済産業省別館1111号会議室
東京都千代田区霞が関1-3-1

定員： 12名（先着順・原則1社1名まで）

テーマ： ウルトラ高齢社会のリハビリ運動型自動車運転外来について
～脳を守って・鍛えて安全運転寿命を延ばそう！～

講師： 愛宕病院 自動車運転外来担当医 朴 啓彰 氏

講演概要： 年間40万人以上が運転免許証を自主返納している。この自主返納者には、認知症ドライバーが数多く含まれているであろう。ところが、今なお逆走やアクセル・ブレーキの踏み間違い等の危険運転行動が後を絶たない。我々は、認知症でなくとも安全運転ができないのは、重度でない高次脳機能低下が原因であると考えている。高知市の基幹病院である愛宕病院では、認知症専門医とリハビリテーションスタッフが一体となって、認知症疑いの高齢ドライバーを対象に、ドライビングシュミレーター（DS）を駆使したリハビリ運動型自動車運転外来が2017年に開設された。当時は世界初の試みであり、NHKや読売新聞など主要メディアに取り上げられてきた。我々は、脳医学的ケアのもと、リハビリ前後におけるDSや認知機能評価、ならびドライブレコーダによる実車運転評価から免許の更新や返納

を判定している。本セミナーではリハビリ運動型自動車運転外来の概要と
効能や問題点、ならび今後の展望を提示する。さらに、脳萎縮と白質病変
と呼ばれる加齢脳現象が高齢者の高次脳機能低下の本質であり、これらを
予防・改善する（脳を守って鍛える）ことがウルトラ高齢社会における安
全運転寿命の延伸化に繋がることを提案いたします。

開催日時： 令和3年3月12日（金） 14：00～16：30

会 場： 経済産業省別館 1111号会議室
東京都千代田区霞が関 1-3-1

定 員： 12名（先着順・原則1社1名まで）

テ ー マ： ヒューマンファクターの理解と安全性の向上

講 師： 西日本旅客鉄道株式会社 安全研究所 所長 河合 篤 氏

講 演 概 要： ヒューマンエラーは、人間が本来持っている脳内のプログラムの特性と、
環境や作業内容が上手く合わなくなった結果として起こるもの、と考えら
れます。そこで「安全」を高めるうえで注目すべき人間の特性について概
説いたします。

申 込 方 法：以下の URL にあります申込みフォームより参加をご希望される日程に必要な事
項を入力いただき、お申し込みください。

URL：https://www.mlit.go.jp/unyuanzen/unyuanzen_tk_000069.html